

ブランドエクスペリエンス		コーポレート・団体	
広告主名	サントリーホールディングス	期間	2018年10月26日 ~
コーポレート・団体ブランド名	コーポレート	地域	全国
施策名	CPR TRAINING BOTTLE	使用媒体	オンライン/イベント・セミナー

1. 施策を行った背景や課題

CPR (心肺蘇生法) 普及を阻む「高い訓練コスト」

1日に約200人が心臓突然死する日本。心肺停止者への対応は総務省も掲げる課題だが、CPRを実施すれば、社会復帰率は2.5倍に向上できる。

しかし、CPRの訓練キットは一般的なもので数千円から、高いものだと数万円もする、高価で特殊な機材。CPRスキルを1人でも多くの人に身につけてもらうには「高い訓練コスト」という壁があった。

2. 解決方法 (SOLUTION)

「たすける力を、みんなの手に。」
飲み終わったペットボトルを使った、超低コストのCPR訓練法の開発 & 普及

CPR普及を目指す一般社団法人FastAidと共同で、飲んだあとのサントリー天然水ペットボトルを再利用し心肺蘇生訓練ができる、CPR Training Bottleを開発。必要なのは、空のボトルと紙のシートだけ。動画を見ながら、誰でも簡単に、超低コストでCPR訓練ができるようにした。

3. 結果

CPRできる人が、毎日増加中。
実際に命を救った事例も。

- ・クラウドファンディングには応援が殺到し、目標を約140%で達成。一般販売を開始し、すでに約5000個のキットを販売済み。

手軽にできることは素晴らしい

救える命をより確実に救うために必要な方法

いつでも練習できて感覚を覚えておける

- ・全国の企業や自治体でトレーニングイベントを開催中。現時点で1700人以上が参加。
- ・「林先生の初耳学」にも取り上げられるなど、CPR訓練が身近なものに。
- ・**訓練受講者が、実際に心肺停止者の命を救ったケースも誕生。**

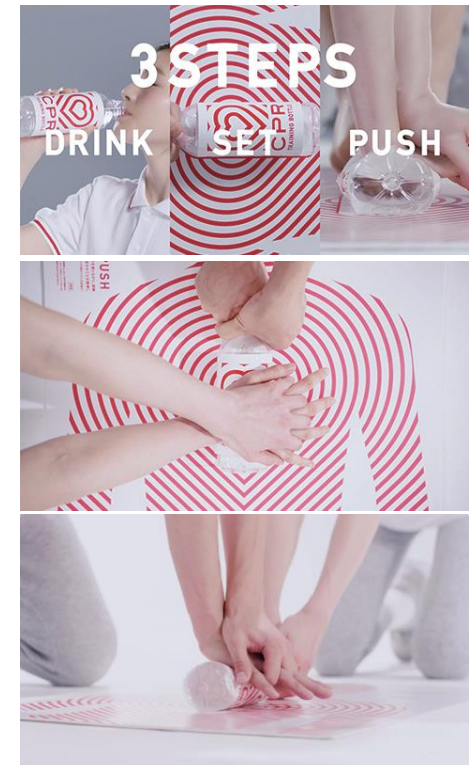
4. 企画のポイント

ペットボトルのリユースが実現した、CPR訓練の価格破壊。

もっとも売れている水、サントリー天然水のボトルを再利用してCPR訓練を可能にすることで、「高い訓練コスト」という普及への壁を破壊。そのコストは、一般的な訓練キットの1/8分の1。限られた団体しか導入できず、一般の人がなかなか学ぶ機会のなかったCPRスキルを、誰もが習得できるものに変えた。誰もが自信を持ってCPRできる社会を目指し、活動を続けている。



空のペットボトルと紙のシートだけで、本格的な救命処置の訓練が可能。



動画を見るだけで誰でも訓練できる。



ペットボトルの再利用で
訓練コストを1/18に。



サントリー天然水ボトルの有効性を
科学的に実証済み。



全国の企業や自治体で訓練イベントを実施中。